



（公財）庭野平和財団主催  
新型コロナウイルスの影響と市民社会 連続セミナー  
開催のご案内（2021 年度）

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、各国・各地の経済活動や市民生活に甚大な影響を与え続けています。とりわけ、今回の事態の前から、困難や課題を抱えていた人々にとっては、仕事、移動、人との対面的な接点という、必要不可欠な生活の基盤、そしてその支援の基盤が失われ、困難や課題がさらに深刻化しており、事態の改善の見通しも立たない状況が続いています。

この歴史的な事態において、「宗教的精神にもとづく平和のための活動と研究の発展を促し、世界平和と人類の共存に寄与すること」を目的とする当財団には、人々のいのちとくらしを続けてきた活動・団体を支援するとともに、それらの取り組みを社会に発信し、また、今後どのような取り組みが求められるのかについて研究する機会を設けることが期待されていると考えます。

そこで、これらの期待に応えるために、

- ① 今回の事態の前から、困難や課題を抱えた人々は、今、これから、どのような状況にあるのか。  
その人々を支援する活動・団体は、どのように対応しつつあり、今後どのような対応を準備・検討しているのか？
- ② 今回の事態を受けて、助成機関はどのように対応しつつあり、今後どのような対応を準備・検討しているのか？
- ③ 今回の事態を受けて、宗教者はどのように対応しつつあり、今後どのような対応を準備・検討しているのか？

という3つの領域に焦点を当てた4回連続セミナーを2020年6月から開催したところ、のべ300人を超えるお申し込みを頂くなど、高い関心を集めました。

長期化・深刻化する状況の中で、これまでに何が起き、これからどう備える必要があるのかをえる機会として、今年度も、同じ構成で4回連続セミナーを開催させていただきます。

公益財団法人 庭野平和財団  
理事長 庭野 浩士



## 新型コロナウイルスの影響と市民社会 連続セミナー(2021 年度)

\* 本セミナーは、Zoom を利用し、オンラインのみにて開催いたします。

各回概要:

| 各回 日時・主題                                                                                     | ご登壇者(法人格略、お名前五十音順)                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第1回</b><br>2021 年6月8日(火)16:00-18:00<br>『今回の事態の前から困難や課題を抱えた人々の状況の推移と、その人々を支援する活動・団体の対応の推移』 | ・赤石千衣子氏 (しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)<br>・稲葉剛氏<br>(つくろい東京ファンド代表理事、立教大学特任准教授)<br>・小河光治氏 (あすのば代表理事) |
| <b>第2回</b><br>2021 年7月1日(木)16:00-18:00<br>『今回の事態を受けた助成機関の対応の推移』                              | ・阿部陽一郎氏(中央共同募金会 理事・事務局長)<br>・大川昌晴氏(日本民間公益活動連携機構 総務部長)<br>・山田健一郎氏(全国コミュニティ財団協会 代表理事)     |
| <b>第3回</b><br>2021 年7月14日(水)16:00-18:00<br>『今回の事態を受けた宗教者の対応の推移』                              | ・戸松義晴氏(全日本仏教会 理事長)<br>・西原美香子氏(日本YWCA 業務執行理事)<br>・吉水慈豊氏(日越ともいき支援会 代表理事)                  |
| <b>第4回</b><br>2021 年7月15日(木)16:00-18:00<br>『第1回から第3回の総括と、今後求められる視野・取り組み』                     | ・川北秀人氏<br>(IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表<br>兼 ソシオ・マネジメント編集発行人)                            |

(各回の詳細を次ページ以降にご案内しています。ご参照ください)

主催: 公益財団法人 庭野平和財団 <https://www.npf.or.jp/>  
運営協力: IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] <https://blog.canpan.info/iihoe/>  
(有)エコネットワークス <https://www.econetworks.jp/>

参加費: 無料 (登壇者の所属団体へのご寄付は歓迎いたします)  
お申込み: 各回、事前お申込み要。お申込み方法は末尾をご参照ください。

その他: 後日、各回の抄録や資料を、当財団のウェブサイトに掲載予定です。

# 第1回

## 今回の事態の前から困難や課題を抱えた人々の状況の推移と、その人々を支援する活動・団体の対応の推移

【日時】2021年6月8日（火）16:00 - 18:00

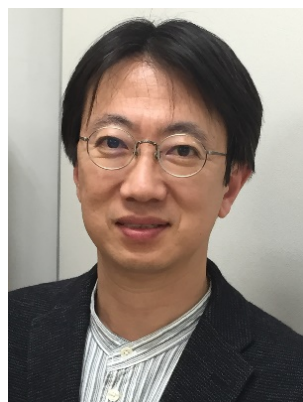


**赤石 千衣子（あかいし ちえこ）氏**

**認定特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長**

非婚のシングルマザー。当事者の視点を大切にシングルマザーと子どもたちが生き生きくらす社会をめざして活動中。コロナ禍で2020年度はのべ約25,000世帯へ食品を援助してきた。中央社会保障審議会ひとり親家庭の支援施策の在り方に関する専門委員会参考人。社会福祉士。国家資格キャリアコンサルタント。東京都ひとり親家庭自立支援計画策定委員会委員。法制審議会家族法制部会委員。シングルマザーサポート団体全国協議会代表。著書に『ひとり親家庭』（岩波新書）、編著に『シングルマザー365日サポートブック』、『災害支援に女性の視点を』ほかがある。

[ しんぐるまざあず・ふぉーらむ <https://www.single-mama.com/> ]



**稲葉 剛（いなば つよし）氏**

**一般社団法人 つくろい東京ファンド 代表理事**

1969年広島県生まれ。94年より、新宿において路上生活者支援の活動に取り組む。2001年、自立生活サポートセンター・もやいを設立し、幅広い生活困窮者への相談・支援活動を展開。2014年まで理事長を務める。2014年、つくろい東京ファンドを設立し、空き家を活用した低所得者向け住宅支援事業に取り組んでいる。認定NPO法人ビッグイシュー基金共同代表。住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人。生活保護問題対策全国会議幹事。著書に『閉ざされた扉をこじ開ける』（朝日新書）、『ハウジングファースト』（共編著、山吹書店）、『貧困の現場から社会を変える』（堀之内出版）など。

[ つくろい東京ファンド <https://tsukuroi.tokyo/about/> ]



**小河 光治（おがわ こうじ）氏**

**公益財団法人 あすのば 代表理事**

1965年愛知県小牧市生まれ。明治大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長、子どもの貧困担当などを歴任し、2015年3月に26年間勤務したあしなが育英会を退職。同年3月、福島大学大学院地域政策科学研究科修了。同年6月、子どもの貧困対策センター「一般財団法人あすのば」を設立し、代表理事に就任。2016年4月「公益財団法人あすのば」に移行。内閣府「子どもの貧困対策に関する検討会」構成員（2014年）、内閣府「休眠預金等活用審議会」専門委員主査代理（2017年～）、文部科学省「高校生等への修学支援に関する協力者会議」委員（2017年～）。滋賀の縁創造実践センター・社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会理事（2019年～）。[（公財）あすのば <https://www.usnova.org/> ]

【進行】川北 秀人（かわきたひでと）IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代行者

## 第2回

# 今回の事態を受けた助成機関の対応の推移

【日時】 2021 年 7 月 1 日（木） 16:00 – 18:00



**阿部 陽一郎（あべ よういちろう）氏**

**社会福祉法人 中央共同募金会 理事・事務局長**

宮城県生まれ。大学卒業後、中央共同募金会に入局。2014 年 4 月に同会企画広報部長から全国社会福祉協議会地域福祉部長に転出。2016 年 4 月から現職。中央共同募金会では、「じぶんの町を良くするしくみ」を主眼とする共同募金改革を担当。気がつけば、寄付と助成の循環の仕組みづくりがライフワークとなってきた。災害関係では、2004 年の新潟県中越地震を契機に、企業・社会福祉協議会・NPO・共同募金会によるプラットフォームである「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P)」設立（中央共同募金会が事務局）。また、東日本大震災発生直後に「支える人を支える募金」として活動支援金の赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ）」を創設。以降は現在まで、ほとんどの災害発生直後に「ボラサポ」を実施、助成活動を継続中。

[中央共同募金会 <https://www.akaihane.or.jp/>]



**大川 昌晴（おおかわ まさはる）氏**

**一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 総務部長**

1967 年生まれ、静岡県出身。大学卒業後、国内損害保険会社に勤務、リテール営業～ホールセール部門営業を経て 2008 年から 6 年間本社人事部門にて人事・労務管理を担当。2014 年から 2 年間、環境省に出向し環境情報開示等の促進に取り組む。その後グループのコールセンター専門会社にて人財開発業務～人事総務部長として人事総務全般業務の統括に従事。2018 年 9 月より J A N P I A（日本民間公益活動連携機構）の総務部長として休眠預金活用事業の指定活用団体への申請～指定後の組織体制整備および休眠預金活用事業の全体運営に取り組む現在に至る。[日本民間公益活動連携機構]

[ 日本民間公益活動連携機構 <https://www.janpia.or.jp/> ]



**山田 健一郎（やまだ けんいちろう）氏**

**一般社団法人 全国コミュニティ財団協会 代表理事**

2000 年、大学在学中に市民活動を始め、東京から佐賀に戻り福祉や街づくり等の現場活動を経て特定非営利活動法人さが市民活動サポートセンター理事長に就任。佐賀県庁職員としても県民協働推進やCSO支援事業に4年間携わり「国連公共サービス部門」世界一受賞の「協働化テスト」の立ち上げ運用を官民協働事務局長として実施後、ドバイ世界政府サミットに登壇。2013 年に佐賀未来創造基金の設立及び代表理事に就任して現在に至る。全国コミュニティ財団協会会長をはじめ、福祉・子ども・街づくり・産業支援など県内外の公職等も務め日々奮闘中。休眠預金事業では資金分配団体として「草の根事業」をはじめ、「新型コロナ緊急支援事業」にて県内外の支援に取り組む。

[全国コミュニティ財団協会 <https://www.cf-japan.org/>]

【進行】 川北 秀人（かわきたひでと） IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代行者



## 第3回

### 今回の事態を受けた宗教者の対応の推移

【日時】 2021 年 7 月 14 日（水） 16:00 – 18:00



#### 戸松 義晴（とまつ よしはる）氏 公益財団法人 全日本仏教会 理事長

1953 年東京都生まれ。慶應義塾大学、大正大学大学院卒業後、1989 年より 1991 年までハーバード大学神学校において仏教の社会性（Engaged Buddhism）と生命倫理を学び神学修士取得。仏教者による「社会活動」、「人生の最終段階における医療への取り組み」とはなにかを探究。医学部、看護医療学部で生命倫理、死生観教育に携わっている。現在、浄土宗心光院住職、浄土宗総合研究所主任研究員、国際医療福祉大学特任教授、全日本仏教会理事長、日本宗教連盟理事長。主な著作・論文は『寄り添いの死生学』、『Never Die Alone』、『Buddhist Care for the Dying and Bereaved』、『Traversing the Pure Land Path』、『仏教とターミナルケア—エイズホスピス寺院から学ぶもの—』など。

[ 全日本仏教会 <http://www.jbf.ne.jp/> ]



#### 西原 美香子（にしはら みかこ）氏

##### 公益財団法人 日本YWCA 業務執行理事

1962 年京都市生まれ。同志社大学卒業。日本聖公会信徒。1987 年～名古屋 YWCA・1991 年～日本 YWCA にて幹事として従事し、青少年の育成と女性のリーダーシップ養成に従事。1998 年～日本キリスト教協議会（NCCJ）の平和・核問題委員会および女性委員会担当幹事としてキリスト教の教派を超えたエキュメニカル運動、ことに平和を実現するキリスト者ネットおよび平和をつくり出す宗教者ネットの立ち上げと運営を担う。2006 年～再び日本 YWCA 幹事として従事し、2010 年～日本 YWCA 総幹事/常務理事、2016 年～業務執行理事として、若い女性を主体とした人材養成と法人運営を担い現在に至る。2018 年～（公財）第五福竜丸平和協会評議員、2020 年 6 月～（公財）庭野平和財団評議員、2021 年 3 月～日本キリスト教協議会副議長。

[ 日本 YWCA <http://www.ywca.or.jp/home.html> ]



#### 吉水 慈豊（よしみず じほう）氏

##### NPO 法人 日越ともいき支援会 代表理事

1969 年生まれ。浄土宗僧侶。NPO 法人日越ともいき支援会代表理事。多くの在留ベトナム人技能実習生、留学生などが若くして命を落としている現状に憤りを感じ、2014 年より『命と人権を守る』支援活動を行う。ベトナム人技能実習生、留学生の数が増え続けるなか、コロナ禍の影響を受けて、劣悪な環境に置かれている彼らからの相談も急増している。2020 年、日越ともいき支援会は東京都より特定非営利活動法人としての認証も受け、現在、その支援活動は単なる相談の枠を超えて、住居の確保、使用者や監理団体、関係行政機関などとの交渉にまで及んでいる。在留ベトナム人の『命と人権を守る』活動を通じて『ともにいきる』社会を実現することを目指している。

[ 日越ともいき支援会 <https://nv-tomoiki.or.jp/> ]

【進行】 川北 秀人（かわきたひでと）IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代行者

## 第4回

### 第1回から第3回の総括と、今後求められる視野・取り組み

【日時】 2021 年 7 月 15 日（木） 16:00 – 18:00

\* 第1回～第3回の内容を踏まえ、各セクターが今後取り組むべき対応について解説します。



**講師：川北 秀人（かわきた ひでと）**

**IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者**

**兼 ソシオ・マネジメント編集発行人**

1964 年大阪生まれ。87 年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。

広報や国際採用などを担当して 91 年退社。その後、国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94 年に I I H O E 設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任（CSR）への取り組みを支援するとともに、市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。（特）J E N 共同代表理事（04 年から 10 年、18 年より再任）、（一財）日本民間公益活動連携機構 評議員（18 年より）など。

[ IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] <https://blog.canpan.info/iihoe/>

# お申込み方法：



各回、事前にお申込みをお願いいたします。

ご参加希望回ごとに、グーグル・フォームにてご所属団体・お名前・メールアドレスを入力いただきます。

(以下の各回の URL からアクセスしてください)

当日が近づきましたら、Zoom 視聴用の URL やパスワード等をご連絡差し上げます。

第 1 回 (6 月 8 日 火)

<https://forms.gle/Y11BoKe24RExZep49> (締め切り 6 月 4 日 金)

第 2 回 (7 月 1 日 木)

<https://forms.gle/JgEx3deBDAcXA7FaA> (締め切り 6 月 29 日 火)

第 3 回 (7 月 14 日 水)

<https://forms.gle/smSiDVEKZnyNFu2X7> (締め切り 7 月 12 日 月)

第 4 回 (7 月 15 日 木)

<https://forms.gle/empCzfuyuqubQwki7> (締め切り 7 月 13 日 火)

## 本件についてのお問合せ

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] (運営協力団体)

E メールアドレス：[office.iihoe@gmail.com](mailto:office.iihoe@gmail.com) 電話 03-6280-5944